

吹田市5月定例記者会見資料

令和4年5月23日(月)11:00～

吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

(1)5月定例会提出案件

- ①ICTを利用した児童・生徒のメンタルヘルス把握による
いじめ・不登校等の予防的支援
- ②妊産婦サポートクーポン事業
- ③家庭生活に支援が必要な幅広い子育て世帯への家事・育児支援

(2)PR案件

- ①inforestすいたリニューアルとイベント
- ②子供の読書活動推進 1人1台端末に電子図書を活用

ICTを利用した児童・生徒のメンタルヘルス把握による いじめ・不登校等の予防的支援

【396.5万円】（特定財源 396.5万円）

事業内容

- 令和4年度文部科学省委託事業「いじめ対策・不登校支援等推進事業」を受託し、公益社団法人子どもの発達科学研究所と連携して実施。
- 「お腹が痛い」や「頭が痛い」などの健康観察項目を、弁護士やスクールソーシャルワーカーなどで構成される運営協議会と脳科学等の専門家の知見を基に科学的に精査・改善検討
- 実践校（市内10校程度）において、GIGAスクール構想による1人1台端末に児童・生徒が健康観察項目を入力。教職員が個々の児童・生徒のメンタルヘルスの状態を継続的に把握
- 健康観察項目で得たデータが、自殺、自傷行為、暴力行為、いじめ被害加害、抑うつ、不安等の様々なリスクの予防的指標となるかどうか検討。予防的支援を実施する。

現状・課題

- 児童・生徒の個々のメンタルヘルスを見取り、予防的支援を行うための仕組みが無い
- 「新しい生徒指導」としてICTを活用した児童・生徒の心身の健康の把握や理解が求められている。

事業効果

- 困難な状況に置かれた児童・生徒のメンタルヘルスの悪化防止、問題行動の減少
- 学校風土の向上
- 科学的根拠に基づくデジタル健康観察の実装

妊産婦サポートクーポン事業

【2481.7万円】（特定財源 75.4万円）

事業内容

■全ての妊産婦（約7千人）を対象に、1回の妊娠につき産後1年まで、家事支援や助産師ケアに使える20,000円分の電子クーポンを交付。

現状・課題

- 児童虐待の相談件数が年々増加している。
- 新型コロナウイルス感染拡大で「里帰り出産」などを控える動きが広がり、実家などからのサポートが受けづらくなっている

利用対象事業

- 家事代行サービス（掃除、洗濯、食事の準備など）
- 助産師ケアサービス（沐浴や授乳指導、乳房のケアやトラブルについての相談）

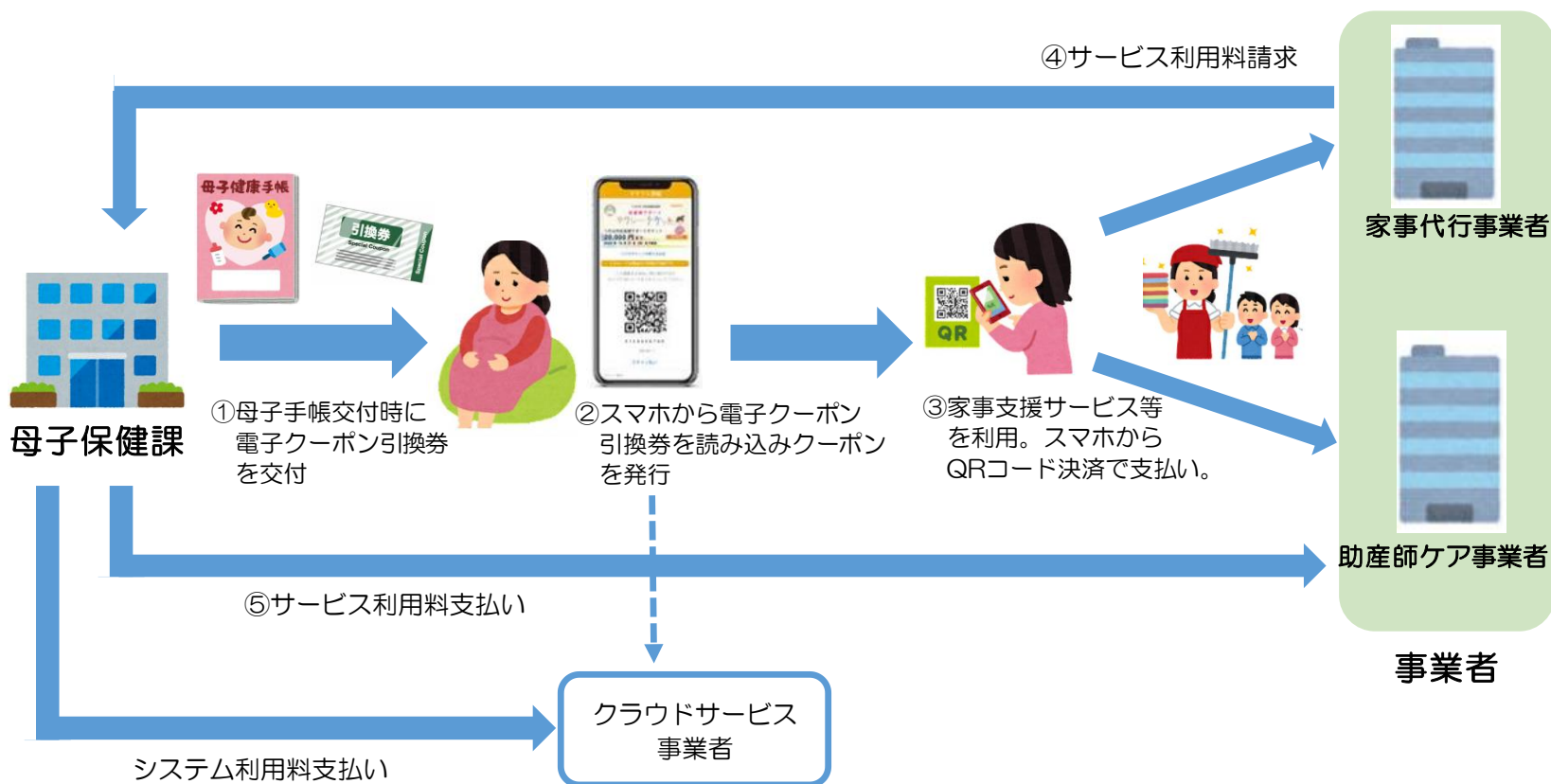
事業効果

■妊産婦が気軽に家事代行サービス等を利用できる仕組みを設けることで、妊娠期や産後の心身の不調の回復や家事負担等の軽減につながり、産後うつや児童虐待のリスクの高まりの未然防止が図れる。

妊産婦サポートクーポン事業

【2481.7万円】（特定財源 75.4万円）

電子クーポン利用の流れ



家庭生活に支援が必要な幅広い子育て世帯への家事・育児支援

【1,220.6万円】(特定財源812.1万円)

事業内容

- 厚生労働省「子育て世帯訪問支援臨時特例事業」を活用
- 家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を支援員が訪問し、家事・育児等の支援を実施
- 家庭の養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的とする

※ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている、18歳未満の子供

現状・課題

- 近年、児童虐待の相談対応件数が増加傾向にある中、養育困難な家庭への早期支援が急務となっている

支援内容

- 家事支援：食事の準備、洗濯、掃除、買い物の代行等
- 育児支援：保育所等の送迎、子育て支援情報の提供等

支援対象

- 要保護世帯及びその恐れのある世帯
- 不適切な養育状態の家庭等、保護者の養育を支援することが特に必要な世帯
- 特定妊婦のいる世帯
- その他、市長が特に支援が必要と認めた世帯

事業効果

- 深刻な養育状況となる前に、ヤングケアラー等を含む支援を必要とする子育て世帯を幅広く対象とした生活支援が可能となり、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことができる

Inforestすいたのリニューアルとイベントの開催

リニューアルポイント

- 市の魅力を発信する吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)が2022年3月17日、リニューアルオープン
- アーティストが店舗壁面に実在の5人の市民をモデルに描き、アート空間として演出。
- 吹田で暮らす普通の人々の生活を大切にしてきたまち、吹田という理念のもと、Inforestすいた開業の日に生まれた女の子や登下校見守りボランティアに取り組む91歳のおじいちゃん、市出身の料理コラムニストなどが壁一面に描かれ、ららぽーとEXPOCITYを訪れる人の注目を集めている。

イベント概要

■目的
Inforestすいたが、本市の都市魅力をアートを通じて発信する施設にリニューアルしたことを広く市民に周知し、今後の施設への来訪につなげる。

■日時
2022年6月19日（日）11時～16時（3部制）

■場所
ららぽーとエキスポシティ 光の広場

■イベント概要
Inforestすいた壁面アートを手掛けた（株）OVER ALLsによるライブペインティング。コロナ禍で触れる機会が減っている「人との繋がり」や「愛のある日々」、「日々の暮らし」といった当たり前のことを大切にしてきたまち、吹田をアートで体现。吹田で暮らす人々を描きます。

子供の読書活動推進 | 人 | 台端末に電子図書を活用

事業内容

- 市立小・中学校の全児童・生徒に貸与されている|人|台端末で、市立図書館の電子図書の貸出・閲覧を可能とする
- 端末に電子図書サイトのショートカットを設定。利用方法は一般向けのサイトにアクセスし、配布されたID・PWでログインする。借出カードの申請・発行をせずに利用できる。
- 端末の設定後、夏季休業開始時（7月中旬）に活用を開始する

事業効果

- 子供たちが場所や時間を選ばずに手軽に読書できる。インターネット環境のない家庭でも電子図書が利用可能に。
- 電子図書の文字拡大や読み上げ機能の利用により、文字情報の取得が困難な児童・生徒への効果的な読書支援
- 外国語図書の音声付き電子図書の利用により、外国語への興味・関心を高める

すいた電子図書サービス

- 令和3年(2021年)年7月サービス開始。約3万点の書籍。小説、料理や旅行ガイドなどの実用書、歴史・自然科学などの教養書から絵本まで幅広く取りそろえる。
- 英語絵本や洋書も1万点以上。